

共に創るいのち輝く未来

データ連携がもたらす新たな価値

NTT西日本は、大阪警察病院と第二大阪警察病院とが統合して今年1月に新病院としてスタートを切った「大阪けいさつ病院」のスマートホスピタル化に、ICT（情報通信技術）の力で貢献している。デジタル化とデータ連携の進展で病院業務を効率化し、患者サービスの向上へとつなげる取り組みは始まったばかりで、今後のさらなる連携に期待が高まる。ICTの活用による「いのち輝く未来」の姿について、大阪けいさつ病院の澤芳樹院長とNTT西日本の北村亮太社長が対談した。

将来にわたりICTで進化し続ける新病院誕生

澤 この度の新病院の開設は、次世代の姿を検討できる千載一遇の機会でした。多くの企業の皆さまとの連携を通じて、最先端のICT導入のシヨークースとなり、スマートホスピタルのモデルとなることをコンセプトとしています。NTT西日本さまにはICTの導入の支えになっていただきます。

北村 当社は新病院のプロジェクトに参加し、電子カルテや検査・会計など、多様な医療システムをつなぐ院内ネットワークを構築させていただきました。将来のシステム導入にも対応でき、運用や保守なども効率的かつ経済的です。

セキユリティシステムの導入などにも携わっており、開院後の安定的な運営に貢献しています。

ICTの活用が医療現場にもたらす価値

澤 スマートフォンを活用することによって、看護師が院

内で移動する距離や時間が半減した例もあると聞きます。こうした環境でだけの変化が生まれるか、大変楽しみです。ICTの活用で働き方改革にもつながると思っています。

することは、医療現場の人材不足への対策になります。また、効率化で生まれる時間を患者さまの対応に向けていただくことで、患者さまファーストの医療に貢献できると考えています。

また、当社では、この他にも医療現場の人材不足の課題解決にチャレンジしています。他病院の例ですが、NTTグループの生成AI「tesuun」が生成した電子カルテの要約文を活用し、患者さまの退院や転院時の書類作成業務を効率化する実証実験も始めました。病院は機微情報を扱うため高いセキユリティ環境が求められますが、大規模な情報処理環境を必要としない特徴をもつ「tesuun」であれば、病院内に生成AIの環境を置き、情報を外部に出すことなく業務の効率化が実現できます。医療分野では多くのデータが扱われていて、デジタルの世界と大変親和性があります。

西日本電信電話株式会社
代表取締役社長
社長執行役員

北村亮太 氏

社会医療法人大阪国際メディカル＆サイエンスセンター
理事長
大阪けいさつ病院
院長

澤 芳樹 氏

働き方改革の第一歩に 注目が集まるスマートフォン導入

PHSは2021年の個人向けサービス終了に続き、23年には法人向けサービスも終了。院内の連絡手段に、内線番号を使う構内PHSを継続利用している医療現場では、医療DXの第一歩としてスマートフォンの導入が注目されています。音声に加え、チャットやビデオ通話等により院内コミュニケーションが向上するほか、さまざまな外部機器（ナースコール、電子カルテ、見守りカメラ等）と接続するなど、可能性が広がります。



持続可能な社会の実現に向けて

澤 今病院では「いのち輝く未来」に貢献する」という理念を掲げています。NTT西日本さまには、その大きな支えになっていただくことを期待しています。

北村 NTT西日本では、医療分野だけでなく、地域社会の課題解決、持続可能な社会の実現に向け、さまざまな分野でICTを用いた取り組み

ます。機微情報の取り扱いに関するルールを守りながら、それらを含むさまざまなデータを活用するための新たなルール作りの場に当社も参加させていただき、データ流通の仕組みづくりに貢献していきたいと考えています。

NTT西日本では、医療分野にとどまらず、データ流通を支えるデータ連携基盤の取り組みにも力を入れています。例えば、大阪府さまは大阪広域データ連携基盤（ORDEN（オルデン））を運営されており、大阪府以外の複数の自治体と共同利用する取り組みを進められています。このような取り組みは、医療分野の経営環境課題にも活用できると考えています。

を推進しています。ドライ

バー不足により路線バスの運行減少等の課題を抱えている自治体さまが進める、自動運転EV（電気自動車）バス導入への支援もその一例です。医療分野のデータ流通を進め、こうしたバスの中で医療検査を受けられるモニターで医師と話せる環境を整えることができれば、通院に課題を抱える方が車内で医療サービスを受けられるようになるなど、医療の「未来」につながっていくと考えます。

澤 最先端技術で医療を進化させる、地域にグローバルに連携する、次世代の医療人材を育てる。NTT西日本さまとの連携でこれらを一

つ実現していきたいが、誰一人取り残さない「いのち輝く未来」へ貢献していきたいと



（きたむらうた）1965年生まれ。88年、東北大学法学部卒業。日本電信電話（株）入社。2015年、経営企画部門担当部長、18年、取締役経営企画部門長、西日本電信電話（株）取締役、20年、日本電信電話（株）執行役員総務部門長、総務部門長として、コンプライアンス法令順守部門を担当。22年6月から東日本電信電話（株）副社長を務め、24年4月から現職。

（さわよしき）1955年生まれ。80年、大阪大学医学部卒業。同大学院第一外科入局。2006年、同大学院医学系研究科心臓血管・呼吸器外科教授に就任。心臓血管外科医として基礎から臨床まで幅広い研究活動に従事。IPS細胞による心筋再生治療の医師主導治験を実施。その産業化をめざす阪大発ベンチャー企業を設立。21年9月から現職。



あしたへー with you, with ICT.